

弥生時代になるとはやくも大陸と交流をもち、古墳時代になると、船型石棺で有名な院塚古墳や装飾古墳(ナギノ横穴群)等、幾千年の歴史を秘めた遺跡、史跡を多数のこし、考古学上貴重である。その後、当地方を玉杵名と呼び、足野長者の日置氏、菊池氏、大野氏の荘園として産業が興り社寺等を造営し、この地方の中心としての基礎づくりができた。戦国時代は諸大名争奪の地となり焼土と化した。加藤清正公が入国して、治水と干拓に力をいれ、菊池川が自然に造りな

した肥沃な耕地に加え、広大な新田をえて穀倉地帯として人口も増加した。細川五十四万石の統治下になると肥後要衝の地として五カ町の一つに数えられ、政治経済、文化の中心地として栄えてきた。明治以後は経済面の開拓が著しく、干拓による米の生産、養蚕業の振興、鉄道の開通とともにしだいに発展してきた。昭和二十九年四月、玉名町を中心とした近隣十二カ町村の合併により市制が施行され、昭和三十一年一月、南関町の一部三ツ川地区を編入した。

市制施行以来二十一年、恵まれた自然と環境を生かし、調和のとれた都市建設のため、田園文化都市、農工併進を標榜し、「生活環境の整備」、「生産基盤の再開発」、「社会福祉の充実」、「教育施設の充実」、その他、玉名温泉を中心とした観光、保養、レクリエーションの場としての施設の整備等を重点的な施策として推進してきた。さらに昭和四十五年七月、二市八町を包含した有明広域市町村圏の指定をうけ、「澄んだ空気と水と緑あふれる都市」、「豊かな生活住みよい都市」、「有明地域の中心都市」の三つを目標に、また南北九州をつなぐ連環機能を備えた拠点都市づくりをすす

めるため、従来までは地元購買より、両市での購買が多かったが、店舗の大型化、専門化、商店街の整備等を図り、地元購買の拡大を図っている。〔観光〕 全国有数のラジウム温泉を誇る玉名温泉を中心に、恵まれた自然を生かした観光地づくりをすすめている。九州縦貫道路、阿蘇スカイラインの開通に伴い、宿泊施設、設備の改善を急いでいる。従来でも、別府―阿蘇―雲仙の国際観光ルートの中継宿泊地として重要な位置にあったが、この両道の開通により、菊池溪谷―阿蘇、天草パールライン観光

熊本県の北西部に位置し、熊本市と大牟田市の中間にあり、市域は東西一〇・五km、南北一四・四kmに亘る。市内中央を阿蘇外輪山に源を発する清流菊池川が貫流し、その菊池川をはさんで市街を形成している。南は有明海に面し、北を景勝の地県立公園小岱山の丘陵地帯に囲まれ古くから天恵の地として知られている。

〔産業〕 古くから肥後米の集散地として栄え、当地方も米作を中心とした田園都市として発展してきたが、近年、丘陵地帯の果樹、平野部の野菜栽培等が盛んである。一方農業振興事業として、経営規模の拡大、協業化の推進のための畜産団地、養蚕団地の造成、圃場整備事業、洪水防除事業などが実施され効果をあげている。また、農工併進を目指しての企業誘致は、地元と密着した公害のない企業を選択誘致し、現在八社が操業している。

〔商業〕 熊本市と大牟田市の中間にあるの分岐点としての拠点づくりと、有明臨海工業地帯の背後地としての保養、レクリエーション施設としての小岱山の整備事業をすすめている。小岱山は玉名温泉の背後にあり、頂上からは東に阿蘇の連山南に遠く天草の島々、文豪夏目漱石ゆかりの金峰山、明治十年の役の激戦地田原坂、有明海に浮かぶ霊峰雲仙岳を望みし、眼下に清流菊池川を見下す景観は県下随一といわれている。頂上に展望台、麓にキャンプ場、遊歩道、登山道がつくられている。また山麓一帯にある横穴古墳、装飾古墳などの遺跡を中心としたサイクリングコースも定められ、貸自転車も備えられている。一方、市民の健康増進、レクリエーションの場としての運動公園建設も計画され用地交渉をすすめている。また、玉名温泉発見の由来にちなむ白さぎおどり、市無形文化財に指定されている花棒踊り、やぶさめなどそれぞれに祭りに披露する。

その他、市内中心部を縦断する国道二〇八号線は交通量が激増、市内を通過する車の流れを促すべく、有明臨海工業地帯と熊本市を結ぶ海岸道路も、現在菊池川に橋脚が建設されている。また広域農道の建設も予定されており、新たに三本の道路が新設される。これらが完成すれば産業の動脈として期待されている。

人口 43,285人  
面積 88,85km<sup>2</sup>  
財政 4,116,121千円(49年度)  
重要施策  
1. 美しく住みよい生活環境の整備  
2. 生きがいのある福祉行政の充実  
3. 生産基盤の整備と再開発  
4. かおり高い文化と教育スポーツの振興  
5. 広域行政による魅力ある地域社会づくり

### 澄んだ空気と水と 緑あふれる都市



▲泉質の優秀さを誇る玉名温泉



▲小岱山遊歩道



▲玉名温泉発見の由来にちなむ「白さぎおどり」



▲特産物 海苔の採取



▲清流菊池川と白石せき